日本体育学会　政策検討・諮問委員会　「若手研究者育成」小委員会

**体育系若手研究者の教育・研究・生活・就職・労働環境の実態と意識に関する調査**

*※質問への回答は、多くの場合、項目番号の左側□内にチェック☑していただく方法といたします。*

Q1．あなたの性別を教えて下さい。

□1．男　 　　　□2．女

Q2．あなたの年齢を教えて下さい。

□1．20-25歳 　　□2．26-29歳　　□3．30-32歳　　□4．33-35歳　　□5．36歳以上

Q3 ．あなたが在籍している、あるいは在籍していた大学院は、以下の内どれにあてはまりますか。（複数の大学院に在籍した経験がある場合には、最後に在籍した大学院についてお答え下さい）

□1．国立の大学院　　　　　□2．公立の大学院　　　　　　□3．私立の大学院

□4．海外の大学院　　　　　□5．大学院在籍経験なし　　　□6．その他

Q4．あなたが取得した学位について、あてはまるものすべてに☑して下さい。また、「博士号」取得者の方

は、学位取得に要した年数（大学院入学から学位取得までの年数）を教えて下さい。

□1．学士　　　　　□2．修士　　　　□3．博士　　　　学位取得に要した年数　　　 　　年

Q5．あなたが取得した教員免許（大学院生の場合は取得見込み）について、あてはまるものすべてに☑し

て下さい。

　　　□1．教員免許なし

　□2．小学校教諭免許状（一種・二種・専修のいずれか、もしくは複数）

□3．中学校教諭免許状（保健体育）（一種・二種・専修のいずれか、もしくは複数）

□4．高等学校教諭免許状（保健体育）（一種・二種・専修のいずれか、もしくは複数）

□5．保健体育以外の中学校・高等学校教諭免許状（一種・二種・専修のいずれか、もしくは複数）

□6．特別支援学校教諭免許状（一種・二種・専修のいずれか、もしくは複数）

□7．養護教諭免許状（一種・二種・専修のいずれか、もしくは複数）

Q6．あなたの現在の立場は，次のうちどれにあてはまりますか。（複数に該当する場合は、主要なもの1つ）

　　　□1．大学院生（修士課程・博士前期課程）

□2．大学院生（博士課程・博士後期課程）

　　　□3．非常勤講師（兼任ではなく非常勤講師のみをしている場合）

　　　□4．研究機関研究員（学振特別研究員を含む）

　　　□5．大学（短大含む）・高専・専門学校教員（常勤）

　　　□6．学校教員（幼・小・中・高校の常勤）

　　　□7．スポーツ団体職員

　　　□8．スポーツ関連企業社員

　　　□9．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q7．前の設問（Q6）で「4．研究機関研究員」「5．大学・高専・専門学校教員（常勤）」に回答した方だけにうかがいます。現在の仕事には任期がありますか。

　　　□1．任期あり　　　　　任期は何年ですか　　　　　　年

任期の延長・更新は　　□1．あり　　　□2．なし

　　　□2．任期なし　　　　　最初に任期のない職に就いたのは何歳の時ですか　　　　　歳

Q8．あなたの生活の状況についておうかがいします。

　Q8-1．あなたは現在、結婚していますか。

　　　　□1．未婚　　　　　□2．既婚

　Q 8-2．あなたは現在、どなたと暮らしていますか。あてはまる番号すべてに☑して下さい。

　　　　□1．本人のみ　　　□2．配偶者　　　□3．子ども　　　□4．親　　　　□5．その他

　Q 8-3．あなたはどのような種類の収入によって生計を立てていますか。あてはまる番号すべてに☑して下さい。

　　　　□1．本人の収入　　□2．奨学金　　□3．親の援助　　□4．配偶者の収入　　□5．その他

　Q 8-4．あなた自身の過去1年間の収入（親からの仕送り、奨学金を含む）はいくらぐらいですか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □1．100万円未満　 |  □2．100～200万円未満 | □3．200～400万円未満　 |
| □4．400～600万円未満 |  □5．600～800万円未満　 | □6．800～1000万円未満　 |
| □7．1000万円以上　 |  |  |

Q9．あなたの研究活動についておうかがいします。

　Q9-1．あなたが現在、所属している学会の数を教えて下さい。

　　　　国内の学会数　→　　　　　　　　　　　　海外の学会数→

　Q9-2．あなたが、1年間に支払う学会費（年会費に限る）の総額（私費・公費を含む）は、いくらぐらいですか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □1．1万円未満　　　　　　　　　 | □2．1～2万円未満　 | □3．2～3万円未満　 |
| □4．3万～5万円未満  | □5．5万円以上 |  |

Q9-3．あなたが支払う学会費の私費負担の程度はどのくらいですか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □1．すべて私費負担 | □2．ほとんど私費負担 | □3．半額程度私費負担 |
| □4．一部私費負担　 | □5．私費負担はない |  |

Q9-4．あなたは現在、ご自身の研究活動に、一週間に何時間程度使えますか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □1．5時間未満　　　　　　　　　　　　 | □2．5～10時間未満 | □3．10～15時間未満 |
| □4．15～20時間未満　　　　　　　 | □5．20～30時間未満　 | □6．30時間以上 |

Q9-5．あなたの研究活動のための費用は、どのような財源ですか。あてはまる番号すべてに☑をして下さい。

　　　□1．指導教員や上司等から与えられる研究費

　　　□2．共同研究グループや研究プロジェクトに与えられた研究費

　　　□3．雇用先の大学や研究機関等から配分された研究費

　　　□4．あなたに直接与えられた研究費（科研費、各種団体の研究助成金）

　　　□5．あなたの個人的な私費

　　　□6．その他

　Q9-6．あなたが、ご自身の研究活動に使用できる今年度の研究費は総額でどのくらいですか（私費は除く）。

　　　□1．10万円未満　　　　　　□2．10～30万円未満　　　□3．30～50万円未満

□4．50～70万円未満　　　　□5．70～100万円未満　　 □6．100万円以上

　Q9-7．あなたはこれまでに、ご自身の研究活動のために外部資金（文部科学省や厚生労働省などによる研究補助金や諸団体が支援する研究助成金など所属研究機関以外からの資金）に応募したり、採択されたことはありますか。また、ある場合には、その回数を教えて下さい。

　　　・応募・申請したことが→□1．ない　　　□2．ある　 　　応募・申請した回数→　　 　　回

・採択されたことが 　→□1．ない　　　□2．ある 　 採択された回数　 →　　 　　回

Q9-8．あなたがこれまでに執筆した論文数を次の各々について教えて下さい。

・国際レベルの査読あり論文（単著もしくは筆頭著者）**→**　　　　　　本

・国際レベルの査読あり論文（共著者）　　　　　　　**→**　　　　　本

なしの場合は、

「0」と記入下さい。

・全国レベルの査読あり論文（単著もしくは筆頭著者）**→**　　　　　　本

・全国レベルの査読あり論文（共著者）　　　　　　　**→**　　　　　本

・その他の査読あり論文（単著もしくは筆頭著者）　　→　　　　　　本

・その他の査読あり論文（共著者）　　　　　　　　　→　　　　　　本

・査読なし論文（単著もしくは筆頭著者）　　　　　　**→**　　　　　本

・査読なし論文（共著者）　　　　　　　　　　　　　**→**　　　　　本

　Q9-9．あなたが、初めて大学院に進学する際、以下のような理由はどの程度重要でしたか。それぞれの項目について，あてはまる選択肢の番号を〔　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．とても重要** **４．重要　　３．どちらともいえない　　２．あまり重要ではない**  **１．全く重要ではない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 学位を取得したかったから | 〔　　　〕 |
| 2 | 研究者になりたかったから | 〔　　　〕 |
| 3 | 指導教員に勧められたから | 〔　　　〕 |
| 4 | 専門知識を学びたかったから | 〔　　　〕 |
| 5 | 就職先がみつからなかったから | 〔　　　〕 |

Q9-10．あなたの現在の主な研究は、どのような実践的問題領域に貢献することができると考えていますか。あてはまる番号を3つまで選んで☑をして下さい。（※ここでいう「スポーツ」とは、子どもの運動遊び、民族スポーツ、武道・舞踊など広範な身体文化を含めた広義の概念とします）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| □ | 1 | スポーツ競技力の向上 | □ | 10 | 高齢者とスポーツ |
| □ | 2 | アスリートのケア・コンディショニング | □ | 11 | 女性とスポーツ |
| □ | 3 | 運動・スポーツと健康 | □ | 12 | 障害者とスポーツ |
| □ | 4 | スポーツ・身体文化の普及 | □ | 13 | 子どもとスポーツ |
| □ | 5 | 学校体育の充実・発展 | □ | 14 | スポーツ思想の普及・創造 |
| □ | 6 | 地域スポーツの発展 | □ | 15 | スポーツと人間形成 |
| □ | 7 | スポーツ産業・ビジネスの振興 | □ | 16 | スポーツと環境問題 |
| □ | 8 | スポーツイベントの充実 | □ | 17 | スポーツと安全 |
| □ | 9 | スポーツの法・制度の整備 | □ | 18 | 専門分野の研究方法論の開発・構築 |

Q9-11．あなたが研究活動をする上で、次のような困難を感じることはありますか。それぞれの項目について，あてはまる選択肢の番号を〔　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．とても感じる** **４．ある程度感じる　　３．どちらともいえない　　２．あまり感じない**  **１．全く感じない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1  | 文献等の研究資料を購入する経済的余裕がない | 〔　　　〕 |
| 2  | 文献等の研究資料を収集する環境が整っていない | 〔　　　〕 |
| 3  | 調査や実験を行うための資金が足りない | 〔　　　〕 |
| 4  | 調査や実験のための施設や設備が整っていない | 〔　　　〕 |
| 5  | 経済的な理由から、学会・研究会に参加することが難しい | 〔　　　〕 |
| 6  | 研究を進める上での適切な助言・アドバイスが受けられない | 〔　　　〕 |
| 7  | 同じ専門分野の同年代の人と接する機会が少ない | 〔　　　〕 |
| 8  | 同じ専門分野の有能なベテラン研究者と接する機会が少ない | 〔　　　〕 |
| 9  | 海外の研究者と接する機会が少ない | 〔　　　〕 |
| 10  | 異なる専門分野の人と接する機会が少ない | 〔　　　〕 |
| 11  | 論文を発表できる媒体が限られている | 〔　　　〕 |
| 12  | 研究を行うための時間が十分にとれない | 〔　　　〕 |

Q9-12．あなたは、現在の研究環境について、どの程度満足していますか。

　　□1　．とても不満　　　□2．不満　　　□3．どちらでもない　　　□4．満足　　　□5．とても満足

Q10．あなたの将来の進路や労働環境についておうかがいします。

 Q10 -1．あなたは、これまでに研究職（大学・研究機関等）の募集に対して、応募したことがありますか。

また、応募したことがある場合には、その回数を教えて下さい。

　　　　　応募したことが　　　□1．ない　　　□2．ある　　　　応募回数　　　 　　回

　Q10 -2．あなたは、ご自身の将来の職業についてどのような希望をもっていますか。次のそれぞれの項目について、あてはまる選択肢の番号を〔　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．とても感じる** **４．ある程度感じる　　３．どちらともいえない　　２．あまり感じない**  **１．全く感じない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 研究職以外の職に就くことは考えられなくなっている | 〔　　　〕 |
| 2 | 「任期なし」の研究職に就きたい | 〔　　　〕 |
| 3 | 研究職であれば「任期の有無」はこだわらない | 〔　　　〕 |
| 4 | 特に研究職にこだわらない | 〔　　　〕 |
| 5 | 研究職でなくてもスポーツの専門をいかせる職に就きたい | 〔　　　〕 |
| 6 | 研究職以外の体育・スポーツ・健康関係の職に就きたい | 〔　　　〕 |
| 7 | 体育・スポーツ・健康関係以外の職に就きたい | 〔　　　〕 |
| 8 | 将来の進路のことは今は考えていない | 〔　　　〕 |
| 9 | もっと条件のいい職場に転勤したい（※大学院生以外の方のみお答え下さい） | 〔　　　〕 |

Q10 -3 ．あなたは、体育系若手研究者（40歳未満）の就職状況についてどのように感じていますか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えにあてはまる選択肢の番号を〔　　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．とても感じる** **４．ある程度感じる　　３．どちらともいえない　　２．あまり感じない**  **１．全く感じない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 体育系の研究職（常勤）のポスト（職位）が全体的に少ない | 〔　　　〕 |
| 2 | 若手研究者が応募できる研究職の募集が少ない | 〔　　　〕 |
| 3 | 自分の専門分野と合致する研究職の募集が少ない | 〔　　　〕 |
| 4 | 研究職以外の専門職のポストが少ない | 〔　　　〕 |
| 5 | 研究職のポストであっても研究環境が整っていない場合が多い | 〔　　　〕 |
| 6 | 体育系研究職の労働条件（給与等の待遇）が悪い | 〔　　　〕 |
| 7 | 研究職に応募するための公募書類の作成に多くの時間がかかる | 〔　　　〕 |
| 8 | 研究職に就くためには、多くの優れた研究業績が求められるようになってきている | 〔　　　〕 |
| 9 | 研究職に就くためには、研究以外の競技・指導実績や教育実績が求められるようになってきている | 〔　　　〕 |
| 10 | 研究職に就くための競争が激しくなってきている | 〔　　　〕 |

Q10 -3．あなたは、現在の職場環境について、どの程度満足していますか。（有職者のみご回答下さい）

　　□1．とても不満　　　□2．不満　　　□3．どちらでもない　　　□4．満足　　　□5．とても満足

Q11．日本体育学会についておうかがいします。

Q11-1．日本体育学会の中で、あなたが現在所属している専門領域をすべて☑して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | □ 1．体育哲学　 | □ 2．体育史　 | □ 3．体育社会学 |
|  | □ 4．体育心理学　 | □ 5．運動生理学　　　 | □ 6．バイオメカニクス |
|  | □ 7．体育経営管理 | □ 8．発育発達 | □ 9．測定評価 |
|  | □10．体育方法 | □11．保健　 | □12．体育科教育学 |
|  | □13．スポーツ人類学　　 | □14．ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞ･スポーツ科学 | □15．介護福祉・健康づくり |

Q11-2．あなたは、日本体育学会にどのような理由で入会しましたか。あてはまるものすべてに☑して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □ | 1 | 体育系の研究をするのであれば入会するのが当然だと思っていたから |
| □ | 2 | 指導教員や上司・先輩に勧められて |
| □ | 3 | 体育系では権威ある学会だから |
| □ | 4 | 多様な専門分野の研究者が所属する総合的な学会だから |
| □ | 5 | 研究成果を公開・発表する機会を少しでも増やしたいから |

Q11-3．あなたは、日本体育学会の発行する機関誌「体育学研究」及び「**IJSHS」に投稿および掲載されたことはありますか。また、ある場合には、その回数を教えて下さい。**

　　**＜「体育学研究」について＞**

・投稿経験が　　　　　□1．ない　　　　□2．ある　　　投稿回数　　　　　　　回

・掲載された論文が　　□1．ない　　　　□2．ある　　　掲載論文数　　　　　　本

　　**＜「IJSHS」（国際誌）について＞**

・投稿経験が　　　　　□1．ない　　　　□2．ある　　　投稿回数　　　　　　　回

・掲載された論文が　　□1．ない　　　　□2．ある　　　掲載論文数　　　　　　本

Q11-4．あなたは、日本体育学会の機関誌が新しく発行された際、掲載された論文をどの程度読んでいますか。和文誌と国際誌それぞれについてお答え下さい。

　　**＜「体育学研究」について＞**

　　　　□1．収録されたすべての論文の内容まで読み込んでいる

　　　　□2．すべての論文ではないが、自分の専門分野の論文以外にも、関心のある論文には目を通すようにしている

　　　　□3．自分の専門分野の論文だけを読み、その他はタイトルをみる程度である

　　　　□4．直接、自分の研究と関連のある先行研究以外は読むことがない

　　　　□5．ほとんど読むことはない

**＜「IJSHS」（国際誌）について＞**

　　　　□1．収録されたすべての論文の内容まで読み込んでいる

　　　　□2．すべての論文ではないが、自分の専門分野の論文以外にも、関心のある論文には目を通すようにしている

　　　　□3．自分の専門分野の論文だけを読み、その他はタイトルをみる程度である

　　　　□4．直接、自分の研究と関連のある先行研究以外は読むことがない

　　　　□5．ほとんど読むことはない

Q11-5．あなたは、日本体育学会の機関誌（和文・英文とも）について、どのように感じていますか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えにあてはまる選択肢の番号を〔　　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．とても感じる** **４．ある程度感じる　　３．どちらともいえない　　２．あまり感じない**  **１．全く感じない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 論文審査の水準が高い（採択の難易度が高い） | 〔　　　〕 |
| 2 | 論文審査が丁寧で勉強になる | 〔　　　〕 |
| 3 | 論文投稿から判定結果が出るまでの期間が長い | 〔　　　〕 |
| 4 | 論文投稿のルールが厳格で、論文作成に手間がかかる | 〔　　　〕 |
| 5 | 日本体育学会の機関誌に掲載されても影響力が弱い | 〔　　　〕 |
| 6 | 日本体育学会の機関誌は学術的評価が低い | 〔　　　〕 |
| 7 | 日本体育学会よりも個別専門学会の論文誌に投稿する方が自分にとっては利益が大きい | 〔　　　〕 |

Q11-6．あなたは、過去に、日本体育学会の学会大会に参加、または発表したことがありますか。

　　・学会大会への参加経験　　□1．ない　　□2．ある　　　　参加回数　　　　　　回

　　・一般研究発表の経験　　　□1．ない　　□2．ある　　　　発表回数　　　　　　回

Q11-7．あなたは、日本体育学会の学会大会において、あなたが所属する専門領域以外の一般研究発表やシンポジウムにどの程度参加していますか。

□5．よく参加する　　　　　□4．時々参加する　　　　　□3．たまに参加する

□2．あまり参加しない　　　□1．参加したことはない

Q11-8．あなたにとって、日本体育学会に入会していることの魅力やメリットはどのようなことですか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えにあてはまる選択肢の番号を〔　　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．とても重要** **４．重要　　３．どちらともいえない　　２．あまり重要ではない**  **１．全く重要ではない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 研究成果を公開・発表する機会があること | 〔　　　〕 |
| 2 | 多様な専門領域の研究者と接する機会があること | 〔　　　〕 |
| 3 | 著名な研究者の発表や議論を聞く機会があること | 〔　　　〕 |
| 4 | 地域の体育学研究者と交流する機会があること | 〔　　　〕 |
| 5 | 体育学全体の研究動向を把握できること | 〔　　　〕 |
| 6 | 自らが体育学研究者の一員であるという証明となること | 〔　　　〕 |

Q11 -9．あなたは、日本体育学会の会員サービスに対して、どの程度満足していますか。

　　　□1．とても不満　　　□2．不満　　　□3．どちらでもない　　　□4．満足　　　□5．とても満足

Q12．あなたは、日本の体育学研究者についてどのように感じていますか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えにあてはまる選択肢の番号を〔　　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．とてもそう思う** **４．ある程度そう思う　　３．どちらともいえない　　２．あまりそう思わない**  **１．全くそう思わない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 体育学の研究者に対する社会的な評価が低い | 〔　　　〕 |
| 2 | 体育学の研究者は、社会に対して貢献していない | 〔　　　〕 |
| 3 | 体育学の研究者は、自分の専門領域に閉じこもっている | 〔　　　〕 |
| 4 | 体育学の研究者は、政策や現場に対する関心が低い | 〔　　　〕 |
| 5 | 体育学の世界は、上下関係が厳しく、権威主義的である | 〔　　　〕 |
| 6 | 体育学の世界は、閉鎖的で社会に対して開かれていない | 〔　　　〕 |
| 7 | 体育学の研究者は、研究以外の仕事で忙しすぎる | 〔　　　〕 |
| 8 | 体育学の研究者は、政策立案にもっと活用されるべきだ | 〔　　　〕 |

Q13．あなたは、体育・スポーツ・健康に関する政策についてどの程度関心をもっていますか。次のそれぞれの政策について、あなたの関心の程度にあてはまる選択肢の番号を〔　　　〕内に記入して下さい。

**＜選択肢＞**

**５．非常に関心がある** **４．関心がある　　３．少しは関心がある　　２．あまり関心はない**  **１．関心はない**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | スポーツ政策（スポーツ基本法、基本計画、地方スポーツ推進計画等）　 | 〔　　　〕 |
| 2 | 学校の保健体育政策（学習指導要領、教員免許法等）　　　 | 〔　　　〕 |
| 3 | 健康・医療政策（健康日本21、地方健康増進計画等） | 〔　　　〕 |

Q14 ．あなたは、日本体育学会の運営について、何か望むことはありますか。年会費、入会方法、専門領域・地域制度、学会大会、機関誌、学会の組織運営等、どんなことでも構いませんのでご意見がございましたら下の空欄にご自由に記入して下さい。

Q15 ．女性の方だけにおうかがいします。女性の研究者ならではの悩みや不安・不満などがございましたらどんなことでも構いませんので下の空欄にご自由に記入して下さい。

***これでアンケートは終わりです。***

***お忙しい中、多くの質問に最後までお答えいただき、大変ありがとうございました。***